

## SS 生物基礎【生命倫理】

### テーマ「高等学校普通科の生物の授業で、動物の解剖を行うべきか」

（はじめに）生物の授業で、社会に出てから必要である生命倫理感を養ってほしい。本時はその最初の一コマである。

この後、さまざまなディスカッションやディベート、解剖実習を通して、自分自身の解を見つけよう。

自身の意見は他の意見を聞いたり、資料を読んだりして変動してもよいものとする。

○資料１・２を（読んで・聞いて）のメモ

○ 資料１～３を踏まえて、高等学校普通科の生物の授業で、動物の解剖を行うべきか → （ Yes ・ No ）

\*記述中にこの動物が具体的にどの分類までかも論じて良い。

○ そのように考える理由を述べよ。＊以下のICE ルーブリックを参照すること。


（ICE ルーブリック）

	I フェーズ	C フェーズ	E フェーズ
論理的に表現する力	既知内容を基に、資料を引用し、自分の意見を表現することができた。	既知内容を基に、複数の資料や班員の意見を踏まえ、多角的に表現できた。	既知内容を基に、複数の資料や班員の意見を踏まえ、新たな視点や論点を含み、論理的・多角的な表現でまとめることができた。

	名前	フェーズ	名前	フェーズ
評価者	（自己評価）			

## 資料1

「小・中・高校における解剖実習を廃止してください」（オンライン署名サイトchange.org）より一部抜粋

(<https://www.change.org/p/%E6%96%87%E9%83%A8%E7%A7%91%E5%AD%A6%E5%A4%A7%E8%87%A3-%E5%B0%8F-%E4%B8%AD-%E9%AB%98%E6%A0%A1%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E8%A7%A3%E5%89%96%E5%AE%9F%E7%BF%92%E3%82%92%E5%BB%83%E6%AD%A2%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%8F%E3%81%A0%E3%81%95%E3%81%84>)

## 資料2

魚や豚肉などを食べることで、これらは言うまでもなく、その生物の命を奪って手に入れたものです。私たちはスーパーに売っているものを食べているので普段は気づきませんが、その裏では、その生き物を日々さばいている人がいることが、解剖実習では自然に思い出させられます。「いただきます。」にはその命をいただくことに感謝する意味があります。それが消化して栄養にする意味と、実験をして知識を得ることと違いはあるのでしょうか。もちろん、同じ命として意味のない死を与えることは、殺戮であると考えています。ですが、自転車でアリをつぶしているとき、夏に飛ぶ蚊を殺すとき、「いただきます」と思っていますか？その違いは何だろうか。サラダを食べるとき、これも植物の命をいただくわけだが、動物よりも感謝が薄いのはなぜだろうか。道路でアリが車でひかれているとき、ネコがひかれているとき、感じ方が違うのはなぜだろう。動物でも、小さな動物と大きな動物が死んだとき、大きな動物の方が「かわいそう」と思うのはなぜだろうか。息を吸っただけで空気中に飛んでいるカビなどの生物を取り込み、胃液で分解している。同じ生物でもヨーグルトの乳酸菌やパンの酵母菌に感謝したことはあるだろうか。命に違いはあるのだろうか。

## 資料3

本校前橋高校1年解剖の実験プリントの考察より（抜粋）＊は私の感想

- ・いくら知識を得るためでも殺したくないです。＊殺したくない、という感情はどんな理論でも否定できません。
- ・貴重な命を頂戴し、私たちは知識を得るのだから、皆がその命に敬意をもって生物実験に取り組むべきだと考える。
- ・命の大切さも同時に考えさせられることから、少しなら取り入れた方が良く思う。
- ＊その「少し」の加減が難しい。でも人体などはもちろん反対です。
- ・家の中に蚊の成虫がでたときはためらいもなく殺すのに、実験のときのみ可哀想だということも少しおかしいと思った。
- ＊感情は一定ではなく、置かれた環境で変わる。
- ・人は本能で「知りたい」という感情がある。そのため、人が生きるための行動に何かしら結びつくと思うため、人という種では当然のことと考えている。＊深い。確かに、実験をするのは生物の中でヒトだけかもしれない。
- ・意欲の高い人がやるのは悪くないと思うが、ふざけ半分でやるような人にやらせなくてよいと思った。
- ＊その通り。同じ実験でも、その人の考えによっても有益にもムダにもなり得る。
- ・知識を得るために尊い犠牲の出る実験であり、失敗してはいけない実験だった。
- ・失敗することが多いので、この実験はあまりよくないと思う。
- ＊失敗から学ぶことが多いので、「失敗は成功」と考えています。ただ、同じミスを繰り返したら犠牲が出ているかも。
- ・良い面と悪い面の2つを持っているので、一概にはこっちと言えない。
- ＊そういう考えもありますが、実験は「する・しない」の2択しかありません。
- ・生きた生物を用いることは命が無駄になってしまうので一部の人間が実験するのがよいと思う。
- ＊その「一部」が線引きが難しい。理系なら、医学なら必要なのか。そもそも高等学校は何を学ぶべきところなのか。
- ・生物を扱うので、それ相応の覚悟がいと感じた。
- ＊覚悟や準備なく、突然このような実験を行えば、心に傷を負うこともあるでしょう。
- ・殺生は仕方ないことであるが、何人かで1つの対象を観察し、なるべく少ない数であるようにすべきだと思う。
- ＊大型の生物ならそうしますが、今回だと誰か1人だけが生命をいただくことになります。
- ・手先の器用さが要求される。＊外科医やラボ系の科学者は知識もそうだが、手先に器用さも重要。
- ・実際に観察することで頭に強く残る。＊良い意味でも悪い意味でも残る実験、と思っています。